6月26日 日曜日 昭和30年(西暦1955年)

# 内外タイムス THE NAIGAI TIMES

第3138号

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5



天気予報

今晩 南のち北の風晴、のち曇むし暑い

明日 南の風、晩一時北の風晴れたり曇ったり、夕刻から晩にかけて俄雨か雷雨

| あすの | 6月26日・日 |
|---|---|
| 旧 | 5月7日 |
| 月齢 | 6.0 |
| 日出 | 前 4.26 |
| 日入 | 後 7.01 |
| 月出 | 前 10.57 |
| 月入 | 後 9.30 |
| 満潮 | 前 8.25 後 10.20 |
| 干潮 | 前 3.20 後 3.20 |
| | (小潮) |

## 自由党首脳部会議開く

自由党は保守結集の今後の推進方法、河野農相不信任問題をめぐる党内統一について意見を調整するため、二十五日午前十時十分から渋谷の総裁公邸で緒方総裁、大野、石井、水田、佐藤の党四役と池田、林、益谷、松野の党首脳および塚田副幹事長が集まり首脳部会議を開いた

写真は自由党首脳会議 右から池田、益谷、林、石井、緒方、松野、大野、佐藤、水田の各氏

# 戒告決議に切換え

## 四党国会対策委員長会談で一致

四党国会対策委員長会議は二十五日午前十一時二十分から衆院議長室で開かれ、民主党砂田、山村、自由党田中（代理）大橋、左社八百板、右社河野の四党正副国会対策委員長が出席、河野農相不信任案の善後措置について協議した、この日の会議では二十四日の国会対策委員長会議で野党側から要求のあった「不信任決議案」を「戒告決議案」に切換え、そのかわり河野農相から米価決定の日時を言明させるとの提案について砂田氏から了承する旨の回答があった また米価を三十日までに決めることを農相から発言すること、衆院予算委員会は二十七日に開くことを決めた

### 28日には決定へ 根本長官談

根本官房長官は二十五日の記者会見で米価問題について次のように語った

きょう二十五日河野農相、一万田蔵相に私も加って米価についてよく話合い、二十七日には松村文相ら関係六閣僚で最終的に検討した上、二十八日の閣議で決めたい、河野、一万田両相にはけさも二十八日までに閣議決定できるよう、きょう中には両相間で意見一致するよう要請した

### 首相を訪問 比嘉沖縄主席ら

米国から帰国の途中、二十四日来日した琉球政府行政主席比嘉秀平氏ら一行六氏は五十分院内に……日の挨拶を行い……

# 予算審議軌道へ

**参院予算委員会**

二十五日の参院予算委員会は二日間にわたる紛糾からようやく審議が軌道に乗り、午前十時二十五分開会、一般質問を続行、佐多忠隆（左社）永井唯一（右社）木村禧八郎（労農）小沢久太郎（自）溝口三郎（自）湯山勇（左社）の諸氏が質問を行った

### 成案のため努力 売春法案 花村法相答弁

衆院法務委員会は二十五日午前十一時五分開会、三鷹事件の判決に関連して刑訴法第四百条但書問題と売春等処罰法案の二件を審議したが、花村法相は猪俣浩三氏（左社）の質問にこたえ「政府は売春法の必要があると考え、成案を得るため最大の熱意をもっており、現在議員立法の形で提案されている法案も趣旨がいいからできる限りの努力を捧げたい」と述べた

### 根本長官ら首相を訪問

根本官房長官は二十五日午前九時、民主党の北村徳太郎、中川俊思両氏らは同午前八時すぎ小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪ね要談した



### 在米資産返還 米議会の審議来春に持越か

【ワシントン二十四日発ロイター＝共同】戦時中米国が接収した日独両国の資産返還についての法案は六月はじめ米上下両院に提出されたが、消息筋が二十四日語ったところによれば、現在議会の日程は夏休季会を控えてぎっしりとつまっており、資産返還法案の審議は早くても来年春になるものと予想されている

# 「抑留者・領土」が中心

## 日ソ交渉・第五回会談

【ロンドン二十四日発＝共同】二十四日の第五回日ソ会談は午後三時（日本時間同日午後十一時）から約二時間十五分にわたってソ連大使館で開かれたが、前回の交渉で討議された諸問題のほか新しい問題も加えて引続き概括的意見の交換から行われた模様である。問題は抑留者釈放問題、領土問題などが中心となっているものと解され、全部の検討を終っておらず、交渉の見通しについては松本全権も意見の表明をさけている、抑留者釈放問題については双方ともこれを平和条約とは別個の問題としてあつかっていると伝えられるが、日本側としては

一、抑留者全員の即時送還

一、生死不明者の調査

の二点を強く主張し、平和条約の前提ないし条件ということをはなれて要求貫徹に努力している模様である、ソ連側はもちろん日本側の要求に応じないという態度は示していないが、戦犯および抑留中に国内犯罪を犯した者だけを抑留者としてあげており、この点日本の主張とはなお食違いがあるといわれる、日本側としてはこの問題に関する討議があまり技術的なものになりすぎることをさけ、ともかく抑留者を至急帰還してもらいたいとの国民的要望を伝えることに今後も全力をあげる模様で、松本全権は送還問題に関する日本国内からの激励、懇請電報などを全部翻訳してソ連側に提出していると確聞する

日本側としては今後も要求を繰返すことによってソ連側の反応を待つことになろうが、松本全権は「この問題に対するソ連側の態度は極めて真剣で交渉過程における取引の材料にするような気配はない」と語っている、なお現在までの交渉で日米安保条約はまだ問題になっていないと伝えられる

松本全権　マリク全権

### モ外相提案に反論加う ダレス長官

【サンフランシスコ二十四日発UP＝共同】……

【写真は演説するダレス長官】(AP共同特約)

### ダレス・モロトフ会談

【サンフランシスコ二十四日発UP＝共同】……オペラ・ハウスで約二十分間会談を行った……

……この会談で、来るべき巨頭会談の事務局を一つにするよう提案したとである 西欧三国はさる二十日の四国外相会議で西欧側の事務局とソ連事務局の二本建てにするよう提案しており、この点だけが会談の手続きにかんする意見の一致点となっているが、それ重要な問題ではない



## 次の第二面小説

### 東海毒婦傳 青とかげ

野沢純 作　土端一美 画

野沢純氏　土端一美氏

第二面連載の木村荘十氏作の「浪人街道」は近く完結いたします。引続いて連載する小説は野沢純氏作「東海毒婦伝」のうち「青とかげ」と題した、江戸末期から明治時代へかけてのいわゆる明治物です。作者の言葉にもありますように、明眸に生れたが故に毒婦にまでなったおりうの数奇な運命を描いたもので、作者薬籠中の題材であります。挿絵はおなじみの「挿美会」同人土端一美画伯が再登場して精彩を添えます。

**作者の言葉**

江戸の豪商で、長者番付にものっているほどの大問屋、尾張屋喜兵衛の愛娘として生れ、お乳母日傘で育てられたおりう。数え十八にして安政の大地震に遭い、さしもの大身代といわれた尾張屋も没落。

悲運を境に、変転と繰りひろげられてゆく浮世の輪廻（りんね）―舞台は江戸の末期から、明治のはじめにかけての女人哀楽。

夏の風物詩は、両国の川開きから、物語の幕はきっておとされます。日毎の場面が待たれるならば作者の本懐、切に御愛読のほど―。

# 濃縮ウラン 米、提供量を倍増

【ニューヨーク二十四日発ロイター＝共同】ストローズ米政府原子力委員長は二十四日、オーヴァーシーズ・プレスクラブで演説「アイゼンハワー大統領は原子力研究のため友好国に提供する濃縮ウランの量を百キロから二百キロに倍増することに決めた」と語った

### 申入れあれば来年も応諾 余剰農産物交渉

【ワシントン二十四日発＝共同】米政府当局者は二十四日「日米両国間で八千五百万ドルの余剰農産物新規買付けが検討されている」との米国通信社の報道を否定して次のように語った

一、日本政府が米新会計年度に農産物の買付けを希望するなら米側ではいつでも喜んで交渉に応ずる、本年度の農産物協定で型が決まったからこんどは話が長引かないだろう

一、日本に余剰農産物を売渡すための新規話合いは公式にもまた非公式にも全然行われていない



### 米機、ベーリング海で攻撃さる

【ワシントン二十四日発AP＝共同】ハガティ米大統領新聞係秘書は二十四日夜「米海軍所属のネプチューン型パトロール機一機は二十二日ベーリング海峡水域の公海上を定時パトロール中、ソ連機の発砲を受け、米領セント・ローレンス島に不時着した」と発表した

## 政界春秋

### 捕捉戦・いきり立つ　木村儀兵衛

保守結集問題。何という眼まぐるしい動きだ。グルグル舞いの狂態だ。初め大磯派（池田勇人・佐藤栄作ら）は〝民・自連立内閣でもいい〟といっていた筈だ。連立はできぬと思ったから　だ。連立ができそうなので合同・解党を打ち出させた。これもできまいと思ったからだ。緒方竹虎始め、執行部派は解党・合同を党議とし、大網をかけてから〝これなら大磯派も文句はあるまい。かれらも、網からのがれ得ないだろう。この上ジタバタするなら、十名足らず、断ってしまえ〟と腹をきめた。

解党・合同して総裁公選で行く、これ程公明なことがあるか首相に対して〝この道を逃げて行け〟という、方角を示してやった。武士の情というものだ。〝鳩山は一日も早くやめろ、民主党もそのように運びをつけろ、来年三、四月などと、片輪首相を抱えて、寝ボケたことをいうな、この点がハッキリするまで一切の交渉に応じない〟と高飛車に出、一歩も退かない。

おそくとも秋深き頃まで、鳩山にやめて貰わねば、網の目が腐って破れそうである。ダラダラやられては熱も失う。大磯派も〝味方の結束二十五名は固いぞ〟と自称、大磯のジイさんはこのピチピチした魚族にナイフを啣わえさせ〝ソレ網を断って大海に泳ぎ出せ〟と指図もしかねない。この一族は〝コチラで指導権を握る〟という腹で〝緒方はどうなったって構わぬ〟という下心がある。大橋武夫など〝善悪に拘わらず、政府案全部に傷付けにゃ承知せぬ〟というのだから、常識外である。

民主党の方はどうか。三木武吉が矢面に立ち、剛刀を揮い、刃向う敵をヤタラに斬り捲って捕捉しようとする。岸信介は逆手を取られて〝痛かろう―痛い痛い〟という顔をしているが〝三閣僚まで出て党内不一致を広告し、国会運営を難かしくした。詫び証文を書け、声明書を出せ〟と逆の逆を取ろうとしている。合同反対、連立で行け（旧改進党、鳩山周辺）世論に従って合同で行け（中間派＝合同を進めてくれと鳩山の返事）

（中曽根康弘の有志招待で自由党合同派の返事）旧番町会の動き（正力松太郎担ぎ）鳩山・吉田両者の握手で恨み解消。中間政党をつくる策動等も隠見。〝とにかくゼニを出せ、大金をつくって見せろ〟というイヤしい動きも大きくからまり、断りつ、断られつ、特別国会末期に迫り、思わぬ副作用（河野不信任）まで飛び出し、大騒ぎの中に保守合同の本筋は狂わず、大波、小波の音をたてながら、真ン中を流れる。鳩山が恋々とすればする程〝ぎゃく殺率〟は高まるだけだろう。

首相が即時合同を明かにすればすべて雲散霧消する。首相が グラツクから、カサカキ共がシュン動、ヒイキの引倒しになるのだ。首相は即時合同態度を明確にせよ（岸派）連立はダメだ、首相は早くやめろ、自由党の空気が硬化して来た。来年なんてモウ間に合わぬ。早くしろ

## 粋人辞典

### お茶ひき考

花柳界や料飲店などで、お客が来なくてひまなことを「お茶をひく」といいますが、誰もがその言葉を使いながら「お茶をひく」とはどういうわけであるか？と訊き返しますと、ほとんどの者が「やァ、どういうわけと尋ねられても困る。たぶん、お客が来たら出そうと思って用意したお茶も、お客が来ないから、ひっこめるというところから、お茶をひくというんじゃないのかな」と、まことにあやふやな返事をするのがオチなんです。なに、ぼくだって知らないのです。

そこで、こっそり「大百科事典」で調べてみたところを、要約して記せば、こうなのでした。（と、正直に書かなければ、相当の物知りみたいに見えるんですが、どうもぼくは気が弱い性分でして…）

「花街に客がなくてひまな者は、葉茶を臼にかけて、粉に搗く仕事をしたところから転じて、芸娼妓がひまなことをいう」とある。だから「お茶ひき」は「引く」のではなくて「お茶搗き」が本当なのでした。ついでに「お茶を搗かない法」（法というよりも、おマジナイといった方が本当かもしれませんが）もあるので紹介しますと、それは「むかし吉原ではお茶をひかないマジナイとして、お茶ひきの用心枕、つまり平常使っている箱枕の底へ、大きな灸をすえるか、または枕二つを（意味深長である）紐か帯でくくりつけて、これをまっくら闇の座敷へ投げ入れれば、お茶をひく心配なしに客がやってくる」と書いてありました。

どうして、こんなマジナイまでして、お茶をひかぬようにと祈念するのかと申しますと、むかしの芸娼妓は、雇主に買われた完全なる肉体ドレイなのですから、客が取れぬ限りは食事も与えられないばかりか、やりて婆ァからは、罪人にも等しいせめせっかんを受けても、一言も文句がいえないことは、芝居や講談でもご承知の通りです。だからして当時の芸娼妓にとって「お茶をひく」ということは単に朋輩に対しての恥かしさばかりか、自身の生命にもかかわろうという大事なのでした。

また、ぼくが他から聞いたマジナイの一つには、お茶ひき女は往来に出て、裾たかく捲り上げて何べんか叩く、というのもありました。これはたしかにご利益てき面でしょう。

ところが、ここにまた新説が現われたのですから面白い。「お茶をひく」という言葉は中国から起ったというのです。これは香港に半生を送った、さるバーのマダムの説でした。ぼくは酔いながらも、さすがは武士のたしなみであり合せの紙へ鉛筆で書きとめました。その説というのは―

戦後は知りませんが、戦前の中国では正夫人の他に、金力に応じ地位に準じて、何人でも側夫人が持てるのでしたから、一号から五号ぐらいはザラで、少し豊かな大人ならば十号から十二号（一ダースなら安くなる、かどうだか）夫人群を宴席に全部はべらせて、招いた客にご覧に入れるという、のどかなものでした。やがて、宴会も果てて客が帰ると、大人もゆっくり入浴して、身じまいをととのえます。そうして、大人は鷹揚（おうよう）な態度で一号から十二号（もっと多いのもあろうが）の寝室が、向い合った廊下を歩いてくるのでした。各夫人は各夫人で、それぞれ美しく化粧をして、各々の寝室の扉をあけてお茶器を捧げて立っています。大人はまるで観兵式の将軍のように左右を眺めつつ、「あ、おやすみ」「おやすみ」と一々あいさつをします。「おやすみ」といわれた夫人は、もはや今夜はご用がないので、お茶器と共に引下り、ご用のある夫人の前では大人はお茶を呑む。そしてご一緒に入って扉がしまる。だから「お茶をひく」というのは、中国から始まったのですよ、とマダムは説くのでした。同じ「お茶をひく」のでも中国と日本はずいぶん差があるものです。

岩佐東一郎

### 次回は二十八日

【ロンドン二十四日発ロイター＝共同】日ソ交渉第五回会議終了後松本全権は全文つぎのようなコミュニケを発表した

日ソ両国全権は二十四日の会談で両国間の関係正常化の問題について引続き検討した、第六回会談は二十八日開かれる

### 対ソ要求貫徹の国民運動

民主党須磨彌吉郎氏と外交同志会（両院議員、財界有志の会合）有志は二十五日午前八時半から丸ノ内ホテルに会合重光外相を招き対ソ交渉の経過を聞くとともに意見を交換した、その結果、同会としては近く対ソ要求貫徹国民運動を展開することに意見が一致、七月八日日比谷公会堂で対ソ問題演説会を開くことになった

東京株式仲値
」新株落△配当落
（25日終値）

| 特定銘柄 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東海上 | 246 | 東高圧 | 120 | 旭化成 | 334 | カボン | 50 |
| 郵船 | 56 | 昭電工 | 82 | 山陽パ | 98 | 三井物 | 136 |
| 新三菱 | 83 | 日本曹 | 74 | 日本パ | 94 | 第一物 | 96 |
| 日清紡 | 261 | 旭電化 | 71 | 国策パ | 101 | 白木屋 | 280 |
| 味の素 | 274 | 三菱造 | 77 | 東北パ | 115 | 高島屋 | 82 |
| 三越 | 266 | 三井造 | 112 | 大東紡 | 95 | 日活 | 72 |
| 平和不 | 174 | 三菱重 | 59 | 商船 | 44 | 松竹 | 198 |
| 三井金 | 109 | 石川重 | 88 | 三井船 | 47 | 東宝 | 1287 |
| 三菱金 | 82 | 精工 | 129 | 飯野海 | 44 | 大映 | 175 |
| 日鉱 | 81 | 東洋ベ | 109 | 西武 | 350 | 日本粉 | 126 |
| 住友金 | 87 | 日立造 | 45 | 藤田興 | 217 | 日清粉 | 155 |
| 三菱鉱 | 38 | 浦賀 | 46 | 東京ガ | 69 | 日本ビ | 142 |
| 古河鉱 | 60 | 日平 | 22 | 東電 | 444 | 朝日ビ | 170 |
| 同和鉱 | 110 | 古河電 | 68 | 日銀 | ― | キリン | 192 |
| 住友炭 | 53 | 日立製 | 67 | 東銀 | 72 | 宝酒造 | 90 |
| 三井山 | 51 | 東芝 | 65 | 三井銀 | 70 | 合糖 | 216 |
| 北海炭 | 48 | 三菱電 | 80 | 富士銀 | 90 | 明糖 | 112 |
| 東邦亜 | 64 | 小松 | 55 | 日証金 | 84 | 甜菜糖 | 124 |
| 帝石 | 68 | 日本光 | 135 | 安田火 | 105 | 野田醤 | 187 |
| 日石 | 91 | キヤノ | 145 | 大正海 | 85 | 森永 | 281 |
| 昭和石 | 98 | 東京光 | 37 | 住友海 | 77 | 明菓 | 172 |
| 東燃 | 116 | 東洋紡 | 131 | 千代田 | 74 | 日水産 | 80 |
| 三菱石 | 115 | 鐘紡 | 109 | 鋼管 | 66 | 昭和産 | 90 |
| 大協石 | 112 | 富士紡 | 103 | 日製鋼 | 60 | 東洋醸 | 75 |
| 日東化 | 72 | 大日紡 | 78 | 八幡鉄 | 50 | 合同酒 | 109 |
| 日産化 | 75 | 日東紡 | 60 | 富士鉄 | 48 | 三楽 | 89 |
| 三菱化 | 101 | 片倉 | 31 | 神戸鋼 | 53 | 大阪糖 | 139 |
| 三井化 | 111 | 東邦レ | 102 | 日特鋼 | 115 | 王子紙 | 213 |
| 協和醗 | 117 | 帝麻 | 58 | 日軽金 | 172 | 十条紙 | 224 |
| 東合成 | 119 | 中織 | 53 | 日金工 | 59 | 本州紙 | 87 |
| 三共薬 | 142 | 帝人 | 125 | 日セメ | 127 | 三菱紙 | 87 |
| 信越化 | 79 | 東洋レ | 175 | 磐城セ | 236 | 北越紙 | 53 |
| | | 三菱レ | 119 | 小野田 | 80 | 三井不 | 777 |
| | | 倉レ | 87 | 横浜ゴ | 179 | 三菱地 | 469 |
| | | | | 旭硝子 | 145 | 三井倉 | 75 |
| | | | | 富士写 | 124 | 渋沢倉 | 75 |
| | | | | 小西六 | 109 | 東洋埠 | 175 |

### 市況 小戻す

農相不信任案に対する自由党の軟化で政局不安は緩和されたため、人気は落着きを取り戻しかたがた日証金融資残り減少から仕手株、準仕手株中心に小口の押目買が見られて休日控えの市況は全般に小戻し歩調となった、特定株は海上中心にマバラ買が見られて軒並一三円方引締り、雑株も売物は影をひそめ不動産、商事はじめ、きのう売られたものが五円内外反発に転じ、その他も概して小確りの商状であった



### 内外抄

「不信任案」を「戒告決議」にすり変えてお茶を濁す。結局戒告されるのは農相でなくて予算委。

◇

教科書の無償配布を取止めた文相は学童に謝れと。なんでも陳謝させる野党と、陳謝する政府と。

◇

「売春婦問題」でNHKが大映労組からボイコットさる。政府に陳謝のコツを教えて貰え。

◇

捕虜を返せ一点ばりの松本全権を持て余すソ連が「交渉はいくらか進んだ」と。冗談ばっかり。

◇

議員さんが赤線区域を行く。赤坂、新橋を行くときとではジキルとハイドほどに違うらしい。

### ないがい川柳 吉田柿司選

いろいろの匂い知つてる雛膺き　横浜 渡辺夢生

保健所はある日乳児の声で混み　市川 初山火治朗

ビニールの袋に金魚魔法めき　長野 磯川兵助

コーヒーの味判る頃家を持ち　武蔵野 米島住郎

小商いなど考えて妾老け　中野 渡辺定雄

金魚屋は去年の声で売りに来る　市川 佐々木小治郎

ロンドンの霧へ樺太をも祈り　墨田 四四坊

## 青春無宿 (47)

大林清　下高原健二 画

### 昼の狼（一）

銀座の夜は白夜に似ている。午前二時頃になって、凡ゆる物音がようやくしずまり、しらじらとした灯影だけの街になったかと思うと、その二時間後にはトラックやオート三輪や魚河岸通いのタクシー、それから自転車など、交通機関の一部が動き出す。やがて都電がきしみ、人々の往来が緩慢な速度で復活する。

銀六のアパートの近くのビル工事場で、リベットを打ちはじめるのは何時頃だろうか。宇田次郎はそれを時計の振子の音ぐらいに、夢見心地に聞きながら、毎朝大抵十一時頃までは床の中にいる。起きたところで仕事がないからだ。

今日もその調子で、頭がとうにさめていながら、眼だけとじていると、ドアにノックの音がした。「宇田さん、宇田さん、まだお寝み？」

女の声だった。

次郎はのびをうって、床の上へ起きなおった。

外ではその気配を感じたらしく、

「あたしよ、真弓」

同じ二階の二つ三つ先の部屋にいる木崎真弓だった。

「なんだ」

次郎は億劫そうな声を出した。たいした用事がないのなら少し寝ていたい。正午に…… 角の料理屋万宗から、女…… をはこんで来るのだ。

「ちょっとここあけて」

何故か真弓はあたりを……に声をひそめている。

次郎はやむを得ず立ち……行って、ドアの掛金をはず……

真弓はスカーレットの客と、食事の約束でもしたのか、そのまま店へ出られるような和服の盛装をして、化粧も念入りにしていた。

「何か用かい」

アパートの立退き問題で、居住者が協議の会合を持つようになってから、この真弓とも親しい口をききはじめた次郎だった。

「あのね、変な奴が下の入口に頑張ってるのよ。ここの人たちの出入りを妨害するつもりらしいの」

真弓は首をさし入れて、仰々しい表情をつくった。

「変な奴って何だい」

寝起きの頭には、まだよく飲込めない。

「よく見かける与太者よ、地主が嫌がらせにさしむけたらしいわ」

「ふうん」

次郎は昨夜の愚連隊連中を思い出した。自分に手を引けと云ったのは、嫌がらせを行うための、準備工作かも知れなかった。

「妨害ってどんな真似をするんだ」

「四人か五人で来ていて、廊下を……

# 小菅の三名士

さきに三鷹事件の竹内景助被告に対し、最高裁は上告棄却、死刑確定の判決を下した、死刑囚は今年の三月で六十二名を数えたが、これは戦前の約二倍となっている、死刑を執行する場所は全国で大阪、福岡、広島、名古屋、仙台、札幌の六ヵ所、死刑囚がこれほど殖えたのはやはり戦後の犯罪史の一面を物語っているが、死刑囚の中でも最近特に名の高かった小菅の名士帝銀事件の平沢貞通、脱走事件で一躍名を馳せた菊地正、そして三鷹事件の竹内景助の三人をとりあげ、断罪の日を待つ彼らの心境と動静を探ってみた【カット写真は東京拘置所】

## 妻の激励に泣く
### 子供ともう一度歩きたい夏の夜店
## 自分を大切にしなかった私

竹内景助

法廷の竹内景助

◇最高裁の断罪の下った二十二日、東京拘置所の竹内被告のところは報道陣や家族、関係者の面会でゴッタ返し、菊地以来の拘置所の"時の人"となったが、それも二日過ぎたきょうは余り面会の人もなく再びもとの姿に戻った、興奮の一瞬を過ぎたばかりの竹内被告、ズングリした血色のよい顔は判決前と変らない静かな表情だ、黒のロイドメガネ、白の清潔なワイシャツ、薄い水色のズボンの夏姿も前と同じである、彼が語る判決後の心境はこうだ――

◇夜はぐっすり眠れる、朝は七時ごろ眼をさまし食欲も減らず見た通り元気でいる、このところ"力を落すな"という励ましの手紙や電報が殺到しているが何ともお礼のいいようがない、上告棄却の判決は最高裁の大きな誤りである、田中長官の良心を或いは期待していたがこんなことになるとは思っていなかった

◇裁判の論理というものは箱庭の石垣のようなものでどこかの部分をちょっと押せばくずれてしまうものだ、自分に都合のよいようにお膳立てをしたこんどの裁判は全く人道的だとはいえない、これからは戦える限りは無罪を主張していくが、この一方的な判決は民主々義への冒ドクである

◇私は共産党員ではないが、そのへんの腰抜け党員よりは組合活動には筋金入りだ、不正な裁判官のやり方をみると益々勇気が湧いてくる、いまとなっては子供がすくすくと成長しているのが何よりの慰めになる、きのうは家内（政さん）がきてくれて涙もみせず"無罪を信じている、子供のことは心配するな"と励ましてくれた、この言葉に私のほうが泣けて仕方がなかった、せめてもう一度家内と子供を連れて遊園地などに行ってみたいものだ、夏がくるとよく夜店をユカタがけでひやかして歩いたことが眼に浮かぶようだ、いまは家族たちが世間から白眼視されて暮しているのかと思うと気の毒でならない、今までの私の人生は自分を大切にすることをもっと考えるべきだった、余り他人のことを考え過ぎていたのではないかと思う、家族たちにもっと温く尽すことができなかったのは残念である子供が大きくなったら精神主義的な本を余り読まず単純な処世でいけと願っている

## 四年ぶり面会
### 子供の成長にびっくり
### 竹内被告の妻政さん語る

法廷の政さん

三鷹事件竹内被告の妻政さん（四〇）は三鷹市上連雀の国鉄寮の一室で五人の子供を守りながら苦しい生活を続けている、二十四日訪れた記者に「夫の無実を信じている、私にはあの判決が下っても心境などとりわけ申上げることはありません」と前置して、次のように語った

◇この六年間は袋貼りの内職が生活の手段でしたが、五人の子供を食べさすにはやっとのこと、それに子供は学校では「あれが竹内の子供だ」と悪童たちにいじめられ、私が街を歩いても陰口を叩かれる始末に、本当に辛い思いをしてきました、この思いも夫が無罪になるまでと心を張りつめてきましたが…面会にも電車賃や差入れ等費用もかさみ足繁く運べなかったのですが二、三日前四年ぶりに父に会うと長男と長女を連れて行きましたら余りの成長ぶりに自分の子のようではないと驚いていたのにはもうたまらなくなって…また竹内は散歩が好きで子供を連れては武蔵野の林の中をよく歩きましたがいままでも目に浮ぶその姿を思い出すと無実の罪を着て自由を失ってる夫の身が本当にあわれです、今度の裁判については昨日も総評の大会に出席しましたが参加者の皆さんが口を揃えて暴力裁判だといっていました、志賀義雄代議士も「絶対に竹内君を救う」といって下さいます

## 所内の憎まれ者
### "誰とも会いたくない"

◇いま死刑囚の中で新聞記者が日参しても会えないのが脱獄して逆戻りした菊地正である、本人は理由もいわず「誰とも今は会いたくない」の一点ばりだそうである、普通の人だけではなく弁護人にも会わないという極端な人の避け方、そこで周囲から探った菊地の近況を浮彫りにしてみた

◇日常生活はもう他の死刑囚と変りなく読書などもしており、定められた散歩、運動も自由にやっている

脱獄の動機については「母に一目だけ会いたかった」とそらしているだけだが、或る死刑囚は「もしこれだけの動機で彼が脱獄したのなら馬鹿な奴だ、三分間母に会うだけでこんな騒ぎを引きおこして他人の迷惑はなんとも思っていない」となかなか菊地に対する風当りは強いようだ

◇彼のいまの心理は文字通り鉄のカーテンの中に閉ざされてバクとしているが、ハッキリ判ることは拘置所員の菊地に対する烈しい嫌悪感である、囚人との面会を交渉する接見主任も「菊地なんて今は問題にしていませんよ、この中では大した人間じゃないんだから」と事更に菊地をケイベツした言を吐く、所員の中でも外部の人から「菊地は…」と話を持ちだされると一瞬顔を見合せてちょっと白けた空気になる、とにかく菊地に関しては「一切ノーコメント」と所長から厳令があるほどだ

◇或る死刑囚の手記の中に「長い刑をうけている囚人は社会への関心を失っているようにみえるが、その実は反対でむしろ普通の人より以上に恐しいほどまでに社会への執着を持ち続けている、これが死刑囚のようにもうその望みがないとすれば…」とあるが菊地はその望みをついに果したわけだ

◇平常に戻った彼は脱走前に愛読していた私物の聖書を手にし何度も読みかえしたページを再びめくっているという「元気で服役していますよ」と看守はいうが、いまの菊地は満ちたりた穏やかな心境ではなかろうか

菊地正

脱走後逮捕され亀有署に護送されてきた菊地正

## 断罪待つ
### その心境と動静

## 惨災よ迫れ、吾男子
### ミカン汁で悠々彩管

◇平沢被告に面会の手続きをすると、思ったより簡単に承諾の返事がくる、約一時間待たされて細長く小さな部屋が並んだ面会室の建物の中に入る、殆んど陽の射さない薄暗く狭い面会室、網戸の前に平沢被告が現われる、オールバックの半白の頭髪はクシの目もきれいで、口ヒゲもよく行き届いているという身だしなみのよさ、片手をふるようにして「やあ、どうも、こんにちわ」と親愛の情？を示す、死刑囚とは思えない落着き払った記者さばきである

◇紺のシマ模様のカスリ浴衣姿の彼は少し落ちくぼんだ眼をしばたきながらグッと金網にヒザを乗りだして人懐しそうに元気一ぱいたんたんとしゃべりまくった

―健康はどうですか

答 きのうも二百グラムのジ血が出て弱りました、前は六十キロ位の体重がこのごろ四十一キロに減りましたがまあ元気なほうです、指のリューマチも余りよくならない（しきりに人さし指をさすってみせる）

―上告棄却の判決について

答 口答弁論を開かないのはどうでしょうか、色々と真犯人を知っている証人がいるのにこれをとりあげないのはおかしいですよ、先日再審の申立をしましたが…

―いまの日常生活は

答 相変らずテンペラ画を描いています、もう二百枚近くなったでしょう、夜はよく眠れますが最近よく神の啓示を聴くようになった就役二千日目のころでした（二月十日）二千日目のことです山田弁護人に礼状を出そうとしたらその夜、神の啓示で「その日付は二日違っている」と叱られ、翌朝もう一度考えたらやはり神のお告げの通りでした、私は霊魂不滅主義者です（話がイキイキとしてくる）

―現在の心境としては

答「無限大の惨災よ迫れ、われ男子なり」（サンサイの字はミジメにワザワイですよと注釈をつけてくれる）と大悟した積りでいるが人間の浅ましさでボンノウから脱けだすことができず、何となく腹が立って舌でもかみ切って死んでやろうか思う時があります、そんなときにテンペラ画の筆をとります、いまのテンペラは差入れの生タマゴ、リンゴ、夏ミカンなどの汁で描きます（看守にこのテンペラ画一枚は七、八十万円はするといっているという）これで心が静まる、いまの心境の一句"泣けるうちはまだ安かりき、今はただ涙もかれて神仏（カミ）と誓える"

―家族との交渉は

答 家族は十日に一度ぐらいに面会にくる、無犯罪、無証拠、無自白という全然無実の罪でありながら家族が世間体をせまくして暮していることを思うと可哀想だ、四月六日の判決の日に家族のためにこんな句をよんだ"ヌレギヌに共に泣くらん吾が家族、神仏知り給うぞ、涙ふけかし"

―再審の申立についてまだ希望を持っていますか

答 モチロンあります、先日だって某官庁の有力者三人が訪ねてきて「真犯人はチャンとおさえている、いずれ時がくれば明白にさせる、それまでは早まったことをするな」と励ましてくれました、また同じ意味で九州と奈良の某氏は真犯人は横浜の沖に沈められているとか和歌山のM氏は「真犯人は俺が知っているから証人が必要なときはいつでもなってやる」などと六件の無罪論者が絶えず応援して下さるので心強い、また衆院の世耕代議士や志賀代議士がこの不正裁判の糾明に乗りだしてくれるそうです、ただこれらの活動が握りつぶされる恐れがあるのが気がかりだ、もしこれが実を結んで無実が証明されたときの最高裁の人たちの顔が見たいものです

平沢貞通

法廷の平沢貞通と上申書

## モダン歳々記
### 弁天窟の殺人

明治三十九年六月二十六日夜、神田区三河町三丁目紺屋業笹屋こと小島彌太郎（四二）とその情婦故藤井吉五郎妻お安（三三）が神田署に謀殺犯として検挙された。

彌太郎とお安はお安が成田山信仰の行者をしていて彌太郎の妻の病気平癒の祈禱をしてから親しくなり、遂に道ならぬ関係を結び、お安は信仰のためと称してますます奇行が多くなって良人吉五郎を驚かしていたが遂に不義発覚を恐れ、同年三月二十六日、お安は吉五郎を本所区千歳町二江の島神社内の弁天窟につれだし、ここで吉五郎に祈禱をさせている隙をめがけ彌太郎が後から躍りでて、手拭でその咽喉を絞めて殺したというのである。

その挙句に二人は吉五郎の死体を赤毛布でくるみ、人力車を雇ってこれを乗せ、彌太郎宅に持ち帰り、同家の古井戸に投げ込んで知らぬ顔をしていたのだ。姦夫彌太郎は講士講、姦婦お安は不動尊の信者として、ともに信心に凝り固まっていたところに、この犯罪の特色がありお安は彌太郎妻のおいだにも、自分と彌太郎の因縁は前世からの約束ごとだといいきかせていたというのである。迷信と痴情の生んだ犯罪であろう。（鮭）

## 風流世界譚
（日本）

近頃はあの手この手も出つくして、ふつうのことでは中々ポン引きにもひっかかりません。そこで現われたのが、附録つきダブル・サービスという珍商法。とにかくお客を母娘してサービスしてくれるというので、聞き伝えた好きものが、我も我もと押しかけて大繁昌です。その一人に戦傷で片脚を失い、義足をはめている男がいました。もちろんちょっと見ただけではわかりませんが、いざという段になって、男がギゴチない義足を外したので、それとは知らなかった娘がビックリ仰天「キャッ!」と叫んで部屋の外へ飛び出しました。「どうしたの、いったい?」と聞く母親に「タ、大変よ！あの人一本しか足が無いの！」と娘がすがりつくのを、さすがに経験をつんでいる母親、「じゃ、アタシが代ってあげよう」とところがまた彼女の方は、客の男が娘にオドロかれないよう義足をはめ直していたのを知りません。「今どき一本足のお化けナンテ」と、やってきましたが、「アラッ！こんどは三本足になってるよ」

## あすの運勢
高島象山

＝六月二十六日＝

▲一月生―辛抱強く熱心に稼業に努力すれば平穏の内に幸福來る也
▲二月生―猪突的変化が起り易く困難辛苦あり病気けがを注意肝要
▲三月生―物事信念と努力が並行すれば目的叶い利益あり造作よし
▲四月生―人気あり信用を増し利潤栄昌あり商売繁昌あり旅行大吉
▲五月生―不意の出來事に意外の失敗を招く事あり万事に警戒せよ
▲六月生―保守的活動する内に奮起心を養い努力すれば栄達ある也
▲七月生―機に臨んで躊躇せずに敏活に努力すれば栄達に赴くなり
▲八月生―初め平穏なるも途中険悪なる運気にあい困難辛苦有注意
▲九月生―物事秩序正しく整然と活動すれば漸次向上し栄昌に至る
▲十月生―目標を定め見通しをつけて活動する時は目的願望有利也
▲十一月生―内外不安を生じ易いが警戒厳然たれば無事に至るなり
▲十二月生―何事も順調にして繁昌あり普請造作移転開業結婚大吉



## 浪人街道（198）
木村荘十 作　野口昂明 画

### 隠士（二）

不動の丹次が美代吉につけて寄越した子分が、慌てて江戸に立って行くと、入れ違いに鍾馗の身内の友次という男がやって来て、

「御用がありましたら幸蔵同様にお使いなすって」と云った。

「美代吉の浅吉が帰って来ないので土地の方の相談相手が出来るのは有難いが、鍾馗の親分とは御存じの通り、後に迷惑をかけまいとわざと喧嘩別れをした我々だ。それでは後々具合が悪くなりはしないか」

「そう思いまして、あっしも親分と争って、盃を返して参りましたから御安心なすって…。ところで美代吉さんのことですが、あっしゃァ多分城内で、修理という奴に捕ったんじゃァないかと思いますが、どうなさいます」

「それを今、考えていたところなんだが…」

「あっしが、忍び込んで様子を見て参りましょうか」

「こんな夜はかえって警戒が厳重ではなかろうか」

「あっしはね。城内でも、印旛沼にようやく作った埋立の土手が切れたと聞いて、江戸へ急使をやるの何んのと騒いでいるんじゃないかと思いますね。あっちじゃァ、もう四日も豪雨が続いているというし、ここの百姓達も長雨だとその仕度をしてますしね、田沼にとっちゃァ命とりの、この悪い知らせを城内で平気で見ている筈はありません」

「それはどういう訳なんだ」

啓之助には、そこらの関係がハッキリつかめなかった。

「あっしも、この城下の、ちょっとした商家の倅でしたが、身を持ち崩して御覧の通りなので、難しいことは分りませんが、土地の旦那衆の噂によると、白岡のお城主という方は、全くの御大名の御曹司で、野心などのない方だそうですが、御舎弟の修理という方は大変な野心家で、田沼様にも大分食い入って、この埋立のことなどにも、色々と尽力をしているそうで、若し、田沼様がこの埋立に失敗でもして、失脚なすったら、当分、世の中に出る手懸が無くなるのではございませんかね」

目明しの佐吉は、じっと聞いていたが

「江戸でも、その埋立の話をきいたことがあるが、一体、どうして地方の埋立工事が、幕府の老中の命とりになんぞなるのだろう」

「お上の金を莫大もなく注ぎ込んでいるんじゃございませんかね、江戸の大尽の中にも、大した金を出している者があるそうですが、今度、また堤が切れて、埋めた土が流れてしまったら、新田など出来るどころか、今まで注ぎ込んだ金は全部無駄で御座んすからね…そうなると、その莫大もない金の使い道なんかも、田沼様がどうしたの、こうしたのと煩くいい出す人もあろうというもので、田沼様も御身分が怪しくなるし、江戸、大阪にも、潰れる豪商があろうというものです」

「なるほど、それで大和屋が大金を出して様子を見張らしていたというわけなんだね」

佐吉がそういった時、啓之助は独りつぶやいた。

「愚図々々してはいられなくなったな」

## 25日（土）ラジオとテレビ



| 時 | ★NHK第1★ 590KC | ★NHK第2★ 690KC | ★ラジオ東京★ 950KC | ★日本文化★ 1130KC | ★ニッポン★ 1310KC |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 00 ❶子供のシンブン❷音楽会 解説・村田正雄 40 スポーツだより | 05 英語会話 松本亨 15 ソ連見聞記 30 独唱 阿部英雄 お祭他 | 10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ぴよぴよ大学（河井） | 00 劇「少年宮本武蔵」 10 おばあちゃんと一しょに ワカサ ひろしほか | 00 メイコのお婿さん探し 15 ビクター・パレード 45 歌謡百貨店 |
| 7 | 15 録音ニュース 30 映画俳優二十の扉 笠智衆 藤原釜足 加東大介 望月優子 三宅邦子 | 00 スクーリン上の異国風舞曲 解説・清水光雄 30 ❶青年学級だより❷座談会「新聞のよみ方」 | 10 録音ニュース 20 物語「赤穂浪士」夢声 50 リズムに乗つて 吉田末男とその楽団 | 00 録音ニュース 10 月のチヤペルほか 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎ほか | 00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 東郷礼 30 三条町子さんを訪ねて 三条町子 飯田三郎 |
| 8 | 00 なつかしのメロデイ 藤山一郎 勝太郎ほか 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 桂三木助ほか | 05 きようの国会から 20 プロ野球公式戦 中日対巨人（中日球場）国鉄対阪神（後楽園球場） | 00 落語❶貧乏神 林家正蔵❷石鹸 三遊亭円歌 30 浪曲・次郎長伝「大瀬半五郎」広沢虎造 | 00 素人ジヤズのど自慢 丹下キヨ子 30 都々逸スクール 木戸竝 暁テル子ほか | 00 飛び出す放送 トニー谷 有木三太 豊吉ほか 30 浪花節「紋三郎の秀」玉川福太郎 |
| 9 | 05 ニュース解説藤瀬五郎 15 劇「樹氷」永井百合子 関口玄三ほか 40 ライとよばれて | 00 ダンスアルバム ハリー・ジエームス楽団他 45 オリンピツク委員東竜太郎さんに聞く | 10 歌謡曲 神楽坂はん子 青木光一 美空ひばり他 40 歌謡漫談「遠山の金さん」川田晴久とダイナ | 00 漫才❶お浜・小浜❷ダイマル・ラケツト 30 劇「この世の花」丹阿彌谷津子 山岡久乃ほか | 00 リレー劇「太郎行くところ」司葉子 大川太郎 30 古今東西恋譚「お染久松」筑紫まりほか |
| 10 | 15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話「田園交響詩の巻」市村俊幸他 | 00 ❶初級世界史 中村英勝❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報 | 05 きようのニユースから 15 漫画「どこから人間か」 30 劇「家のおばあちやん」 | 00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田鍵 30 国語（古文）小西甚一 | 00 歌謡曲 三橋美智也 照菊 若原一郎ほか 35 スポーツ・カレンダー |
| 11 | 20 随筆「ブロンズの少女」村野四郎 | 00 座談会「国定か検定かの魔術」重松敬一ほか | 10 週末夜話「報道写真の裏話」安保久武ほか | 00 DXニユース 福士実 20 対談「日ソ交渉現段階」 | 00 唄ごよみ 15 映画の時間 高峰秀子 |

**テレビ**

★NHK★ ◆6・00 親子クイズ◆6・30 今晩はメイコです◆7・10 週間ニュース◆7・30 中日球場からプロ野球実況「中日ドラゴンズ対読売ジヤイアンツ」【中止の場合】短編映画「えび漁師」ほか◆9・00 ニュース

★NTV★ ◆6・00 ホームニュース◆6・10 ありのお国◆6・30 素人のど競べ 水の江滝子ほか◆7・30 なんでもやりまシヨウ 三国一朗◆8・00 後楽園球場からプロ野球実況「国鉄対阪神」9・00 今日の出来事

★KR★ ◆6・00 映画「山を緑に」◆6・25 ハワイアンシヨウ ◆7・00 映画「深夜のランデブー」◆8・30 ミスユニバースコンテスト前夜祭◆9・10 探偵劇「夜の通り魔」解決編◆9・40 ルポ「五万人の行進」

**あすの番組**

| NHK第1 | NHK第2 | ラジオ東京 | 日本文化 | ニッポン |
|---|---|---|---|---|
| 7・45 私の主張 青野季吉 | 7・15 感覚の世界 内田亨 | 8・20 お喋手帳 越路吹雪 | 8・10 週間録音ニュース | 7・15 発掘秘話三笠宮崇仁 |
| 8・05 音楽の泉 堀内敬三 | 8・00 宗教行脚 戸田義雄 | 9・10 ちえのわクラブ | 9・00 日曜日の贈物 | 8・30 財界放談 森永太平 |
| 9・30 コーラス・アルバム | 8・30 夜間学校の実態 | 9・45 名作「父帰る」 | 9・15 私は思う 吉野俊彦 | 9・15 日曜随想 中川一政 |
| 10・15 アンデルセン童話集 | 9・00 読書案内吉川幸次郎 | 10・30 モーツアルト作品集 | 10・00 ミユジツクカレンダ | 10・00 仲良し音楽会 |
| 10・30 声くらべ子供音楽会 | 9・30 ラジオ音楽雑誌 | 11・00 ミユジツクアルバム | 10・30 汗の話 中村敏郎 | 11・00 お母さん教室 |
| 11・25 講談「親鸞」馬琴 | 11・25 謡曲「海人」金春信高 | 12・10 素人うた合戦 | 11・00 陽気な一家 関弘子 | 12・00 職場対抗のど自慢 |

# 死を選んだ福祉事務所長の謎

# 愛人、家庭の板挾み

## 百万円使い込みの噂も

高橋常男氏

安井都知事の公約の一つ〝人事刷新〟に自ら協力、辞職を申出た前豊島福祉事務所長高橋常男氏(四八)＝文京区大塚仲町三六＝が、昨二十四日朝国電千駄ヶ谷駅で鉄道自殺を図ったことは昨報の通りだが何故高橋氏は死の道を選んだのか—噂のいろ〳〵をあげてみると…

「高橋さんは、去る六日付の異動で、荒川福祉事務所長に転任の辞令が出たが、どうしたわけか、発令の日に辞表を出された」（都民生局庶務課の話）「辞める一週間ほど前に会った時は、辞める気配は見えず〝豊島の福祉事務所を新築して、モデル事務所にしたい〟と意気込んでいた」（某民生委員談）「去る三月に左翼を誠にしたが、一部で不当馘首だと騒がれ、以来神経り遂に自殺を図ったのだろう」（某警察官談）「いや露された福祉協議会の百万円流用を苦にしての自殺か（某職員談）「いやいや、あの人は女関係が多いとから原因は女かも知れん」（友人）等々、同氏自殺はとりどりだ、さてその真相は—

○…まず、福祉協議会の公金百万円流用という噂を探ってみようとの噂というのは、同協議会（会長松田定一氏）で、昨年九月の理事会に民生委員の大類哲男氏が約百万円の使途を追及したところ、高橋所長が交際費に流用、その穴うめに困った挙句、今度の八割増の退職金約二百万円をあててそれで切抜けようという考えらしい、というのである

○…いかにもありそうなことだがこれについて追及したといわれる大類氏は「そんなことをいったおぼえはない、喋りもしない私の名前が使われていてこちらが大変迷惑している、第一、昨年九月の協議会は、理事会が二十七日、総会が二十八日に開かれているが当時十五号台風で親威の見舞いに、兵庫県へ出かけており、私は十二八日に帰京しているので全く知らぬこと」と語り、同協議会の松田定一会長も「そんなことを理事会で質問したこともない、それに協議会はまだ出来て二年そこ〳〵、有金を寄せ集めてもそんな大金にはならない、しかし家庭の事情が複雑で、私的に借財が多かったことは事実らしく、役所へよく借金とりが来るということはよくきいた、二十五日に協議会の理事会が開かれるが、その席で自殺の真相はある程度判るだろうが、金を使い込んだということは全くありえない」と否定している

○…高橋さんは台東区出身、富岡中学を中退、役所入りをした立身出世型で、趣味は囲碁と将棋、職場でも、部下の評は可もなし、不可もなしだがどちらかというと、福祉事務所長の中では切れる方だったようだ、家庭は男の子が二人と奥さんの四人暮し、複雑な家庭の事情といわれているのはかつて高橋氏が葛飾の福祉事務所に勤めていたころ知り会った婦人とねんごろになり、そのために家庭不和が絶えず、家庭と愛人と借金の板ばさみになったのが原因と見られている、何気ない浴衣姿の早朝の散歩中の出来ごとだったが、神経衰弱気味であったことは否めない

○…神経衰弱の原因として、左翼系の人たちもあ…をする人たちもある、福祉事務所は仕事柄生活困窮者との接触が多いところから〝赤〟のくい込む隙がからんで自失状態におちいったのではないかと見ている向が一番多いようだ

## トウキョウ・スケーチ　場末もたのし ⑩

### 暴力の街

池袋は西部の街のようだ—という表現はすでに古くさいだろうがやはりピッタリしているようだ、ちかごろは〝暴力の街〟としてメキメキと売出し？ているようだが、西部の街が暴力の街になってもさして不思議とするに当らないかもしれない、整備された駅前広場に近代建築のスイをこらした大デパートが建って、地下鉄も開通、手チョップの店にも毎夜酔客が絶え

盛り場・池袋の上っつらのお化粧はできたようだが、キレイな地下鉄が発着するホームで公然と現金強奪が行われ、五彩のネオンの下で酒場のマダムが力道山のマネで客をノックアウトさせ、靴を買いに入った女子学生が店員に蹴り倒されるとあっては「ブクロはやっぱり場末である」といわれても文句はあるまい、

しかし、暴力、悪徳、不衛生などが渦まいている反面、それらをソックリとフトコロに抱いたまゝ池袋は旺盛な意欲で、騒音を伴奏に日一日と生き物のように成長、発展してゆく、唐な荒々しい街の魅力からでもあろうか—

逞しく伸びているよい例証に貸家、貸間斡旋業、つまり不動産屋が目立って多い、西口近くの一軒の不動産屋のおやじにきけば「池袋の発展は土地の者さえ眼を見はるほどですよ、三業地が拡がり、産婦人科、小アパート、貸屋がふえてるのが何よりの証拠、それにまずあたしたちの商売が多いこと…」そこへナイロン・ブラウスの二十一、二の美女がヒラリと飛込んできた、「おじさん、あしたあたり一部屋頼むわヨ」ヤケにあっさりした部屋探しだが、おやじも「O・K、こんどは長いのかい、短いのかい」と、イトもカンタン

「そうねェ…オメンはいいけど、ヤバイ商売らしい」

「じゃ、短いほうだね」まるで禅問答だが、これで話はついたものらしく、くだんの美女、安香水の匂いを残してサッとお帰りになった、鬪くまでもなく、おやじは説明してくれた、「あのコは三部屋もってるんですよ、男の専用品になるシルシに部屋を貸してもらうんです、部屋が三つあれば旦那が三人てワケですよ、これなら旦那同士の間の悪いカチ合いもないし、頭のいいコです」さっきの「長い」とか「短い」とかを通訳すると—長続きしそうな旦那なら頭金を高く、家賃の安い部屋、長もちしそうもない旦那なら頭金は安く家賃の高い部屋を貸すという不動産屋の商法なのである

最近こんなことがあったそうだ、マンボ・スタイルの男が妻と称する女を連れてやってきて、散散貸間を案内させた挙句、店の前で声高に口論をはじめた、男はいい部屋がないから次の機会にするといい、女はとにかくどこにでも入ろうという、男はついに女の頬ッペタをハリ飛ばした、翌日男がやってきて「スミマセン、あの女と別れましたんで…」ところが数日後貸間の主人が「先日の二人が移ってきましたが…」と報告に参上したとか、つまり二人は貸間斡旋の手数料を払うのがモッタイナイためにナレアイの狂言喧嘩を熱演なさったワケ、都庁の汚職でナレアイ流行とはいえ、これは発展途上の土地らしいハシッコイ話ではないか【写真は貸家、貸間の店が並ぶ池袋西口】

# ウケに入る不動産屋
## 益々発展の〝西部の街〟

# もうこんな賑わい
## きのうきょうの鎌倉海岸

○…ここ二、三日はツユとも思えない青空がのぞいて、気温も三十度前後とすっかり真夏なみ、そこで七月一日の「海開き」を前に海の銀座鎌倉海岸には夏を待ちきれない子供や派手な女性の海水着でにぎわい、きょう二十五日の土曜日には今年の〝ハシリ〟が五十名ばかり押かけた、たまに海に飛込んだ勇しいのもいるがすぐ唇を紫色にして浜に上り、大半はパラソルの陰に休んだり波打ぎわを散歩していた

○…一方、都内でも警視庁管下二万七千人のお巡りさんがけさ一斉に夏服に衣替え、街頭に立ってピーピコピーと交通整理のお巡りさんも白い帽子にあちらスタイルの開襟シャツ、だが、これはみかけほどは涼しくない上、ピストルをぶらさげるバンドのあたりに汗がにじみ不格好だとあって、昔懐しい真白い麻の詰襟服の復活が話題に上っているという【写真は鎌倉海岸にあらわれた海水浴の〝ハシリ〟と㊤衣替えしたお巡りさん㊦＝虎ノ門にて】

# マラソン詐欺
## 洋服布地八千万円
## 元労組委員長を送検

渡辺秀敦

…十八会社から約八千万円の取こみ詐欺を働き十一月に店をそのまゝに全国の温泉地を逃げ回っていた

渡辺は台東区山谷特殊合金株式会社職工から二十四年九月には川崎にある特殊製鋼の労働組合委員長をしており、そのころ団交で会社の重役を殴り暴力行為で鶴見臨港署に検挙されたことがある

…ていたが、昨年十月ごろから不況のためメーカーに第一回だけ品物の代金を払い信用させ、二回目からは代金後払いという約束で品物を取り、これを神田方面の問屋に半額以下で叩き売るというマラソン式

十一月までの僅か二ヵ月だけで千代田区有楽町一の一〇、三信ビル内ノーブル商会（責任者ミッシェル・J・ジョフツェ）からイギリス製高級服地四百万円を詐欺したのをはじめ、中央区八重洲町三の一東一株式会社（社長辞本貴）から六百万円など二…

新宿キャバレー さくらめんと

## これは金融詐欺一千万円

小岩署では二十五日葛飾区本田立石町五三八、三浦利兵(三三)を一千万円の詐欺犯として逮捕した、三浦は元特別調達庁財務部に勤務したが昨年九月ごろ架空の「片岡商事組合」を組織、同月下旬江戸川区小岩町三の一七二森屋旅館経営者森口安次郎さん(五四)に住宅金融公庫から二千五百万円の許可をとってやるといって保証金、印紙代など約六十一万円を詐取したほか、同様手口で数百万円に上る詐欺を働き、さらに都内一流銀行、信用公庫などに近ずき手形を割引きすると称して総額約一千万円の詐欺を働いた、その際三浦は関係者を熱海、箱根などに招待して豪遊をしその未払が約二百万円に上っている

## 都の財務局員を逮捕

都庁汚職を追及中の警視庁捜査二課は、二十五日朝都財務局管財部用地課山田四郎氏(三六)＝世田ヶ谷区世田ヶ谷四の六四八＝を収賄供応容疑で検挙、家宅捜索も行った調べによると山田氏は北区浮間町都営住宅地買いとりに関し、さきに逮捕された北区浮間町区画整理組合副理事長清水喜市(四三)から数回にわたり四、五十万円を収賄した疑い、なお、区画整理組合設立認可についても疑点があるので同署で追及しており、都の上層部へ波及するものとみられている

# 岡議司はねられ重傷

二十五日午前五時半頃東京都目黒区上目黒五の二三八一映画俳優岡譲司氏＝本名中溝勝三(五三)＝は自家用車を運転して目蒲線田園調布一号踏切りを横断しようとした際進行してきた目黒発下り電車＝谷海正雄運転士(三八)＝と衝突、約二十米引ずられ電車と電柱の間にはさまって自動車は大破、岡さんは右サ骨、左右ロッ骨四本を折り付近の中央病院に収容されたが全治二ヵ月の重傷、東調布署の調べでは岡氏が同踏切で一時停止をしなかったものらしい、家人の話によると同氏は新東宝での仕事が終り同朝帰宅の途中の事故で、疲労のため注意を怠ったのではないかといっている【写真は衝突現場と円内岡譲司氏】

## バスにはねられ即死

二十五日朝七時四十五分ごろ新宿区若葉町三の三の二瓦職長田侑一郎さん(五八)は自転車で仕事に出かける途中、中野区本郷通り一の二一先で後から来た新宿伊勢丹前発中野駅行京王帝都バス＝川口実運転手(三〇)＝にはねられ頭を轢れて即死した、中野署の調べではバスの追越不注意から

# 都労連、團交漸く妥結

夏季手当一ヵ月分（税込み一人平均二万二千円）を要求して闘争中の都労連は二十五日午前十時から同三十五分まで第十三回団交を行った結果、安井都知事から「税込み〇・五ヵ月分プラス手取り〇・二五九ヵ月を支給したい、これは最後の線だ」と回答した、組合側は団交後ただちに中闘委を開き各労組の意見をまとめこの案をのむことになった

妥結した額は税込み〇・八一六程度で手取りにして一人平均一万七千九百三十円になる、これは昨年にくらべ新税の関係で手取りは一人平均千二百円上回ることになる

なお夏季手当の総額は組合員約十三万六千人（警視庁、消防庁、教員を含む）で約二十五億円にのぼる

### 公労協は物わかれ

公労協（九組合九〇万）の夏季手当一ヵ月分獲得闘争でまだ解決しない全専売（三万七千）全印刷（七千）（国鉄三十八万）機労（五万）の四組合は二十四日徹夜の団交を続けたが物別れとなった



### 中山大障害は東西馬の決戦

【中山四日目】

あすは中山大障害、日経賞サラ四歳特別があり、競馬ファンにとっては、終盤戦の良の日になりそうだ

△中山大障害（第七—四千百米）人気はキタノイヅミに集中するかと思うが、脚質上距離の不安は免れず、廿三日調教中落馬したことなどを思うと信用出来ず、堅実味は関西から再度挑戦してきたヨシミノリに認められる、同じく関西馬のタカクモも争覇圏だが、もし穴があれば、いま上昇途上にあるインデアンオーではないか、ヨシミノリ、キタノイヅミ、タカクモの順、穴インデアンオー

△中山四歳特別（第九—千八百米）このレースは58キロでもヒシタカ中心、着を争うものが、ミスセイジュ、セルフジの両馬で、穴はサザンラッド

△日経賞（第十—三千二百米）安田賞の勝馬クリチカラは引続き好調、結局同馬の追い込みがモノをいうのでないかと思うが、長距離は必ずしもよいとはいえず、或いはハツワカ、ミネノスガタなどの専門に降らないとも限らない、穴としては特ハンに勝ったホマレオーがうるさい、クリチカラ、ハツワカ、ミネノスガタの順、穴ホマレオー

△一般レース予想　❶ヤマノウヤテ、ミンクス、シネマの順、穴マツチドリ❷タツトモ、タケフジ、ミタカツの順、穴テツペキ❸ハツリユウ、テツカンロ、ミスチカコの順、穴ダイキリシマ❹ラッキー穴ヒロカブト❺ダイナゴン、ツルギカゼ、ハイタイムの順、穴ユウタカヨシ、コマカゼ、ハクビの順ケン❻シルバーウエーブ、アズマメイジ、ハツクモの順、穴ナスノキンキ❽フミハタ、ヤマトヒカリミスアスターの順、穴ヒローインミスタカラ、トキノトビスル、❿スズタカラ、トキノトビスル、アポイオーの順、穴ミナトタイガー　（松本強一）

### 大障害出場馬

明二十六日中山で行われる四日目第七レースの大障害出馬表次の通り

| 枠 | 馬番・馬名 | 斤量 | 騎手 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | ❶カクセイ | 62 | 小林勘 |
| 2 | ❷キタノイヅミ | 58 | 勝尾 |
| 3 | ❸アサミネ | 64 | 富田 |
| 4 | ❹モナコオー | 64 | 目時 |
| 5 | ❺ミツオリオンズ | 60 | 本田 |
| 5 | ❻タカクモ | 59 | 坪 |
| 6 | ❼ヨシミノリ | 64 | 柴田 |
| 6 | ❽インデアンオー | 57 | 鳥谷部 |

### 中山競馬第三日目成績

（曇、良）◇第一サ五（千八百）❶トシフミ（高橋英）1分51秒3❷ダーイスター¾馬身❸ハマサクラ1¼馬身（単）130円連❷—❶430円

◇第二サ四（千六百）❶クリハヤテ（勝尾）1分39 4❷ブラックペル❸キンコウ（単）550円（複）270円240円（連）❶—❷1630円

◇第三ア（二千五十）❶ラントウ（飯塚）2分20秒4❷エース2馬身❸トキワヒカリ¾馬身（単）130円（複）110円120円（連）❷—❶—❺860円

### 松戸競輪初日成績

◇第一B（千）❶村松偉1分23秒7❷渋谷孝1車½❸板村重（単）無投票（複）110円130円250円（連）❷—❶450円

◇第二B（千）❶飯倉同1分26秒1❷古部昭5車身❸古沢豊（単）特70円（複）100円100円100円（連）❹—❸520円

### 川崎競輪五日目成績

◇第一B（千六百）❶丸山房2分19秒7❷宇敷満1車❸越方省（単）100円（複）無投票、無投票100円（連）❻—❹320円

◇第二B（千六百）❶落合郁2分22秒5❷南佐春一車❸佐野李（単）370円（複）120円110円220円（連）❶—❹1800円

### あすのスポーツ

△プロ野球　国鉄対阪神ダブルヘッダー（五時、後楽園）大洋対廣島ダブルヘッダー（五時、川崎）毎日対東映（七時、駒沢）△野球　六大学新人戦慶大（十時、神宮）早大対立大、東大対法大、明大対関学リーグ（二時、日大）△陸上全国勤労者東京予選（十時、神宮）△水球関大新東京（体育館）△サッカー　全早慶明定期（正午・ボール）△バレー関東高校選手権（九時、東大）△柔道　関学対…選手権（九時、大宮）△剣道　（中山大障害レース）（十一時）大井（正午）

細野三千雄氏（右社代議士、党中央委員）二十五日午前五時胃ガン手術後の経過が悪く渋谷区代々木大山町一〇四七の自宅で死去、五十八歳、愛知県出身、東大法科卒後立大教授を経て昭和二十一年代議士に初当選、同二十二年文部政務次官、当選四回

## 横須賀で60坪焼く

【横須賀発】二十五日午前四時ごろ横須賀市追浜東町三の四三クリーニング屋酒井弘道さん(三七)方作業所から出火、同作業所乾燥室住居など木造トタンぶき平家建三棟五十坪と隣家の斉藤吉次郎さん(五三)方十一坪半を全焼、さらに隣家二軒を半焼して同四十分頃鎮火

## ふし穴
### 今度は〝ベッド、バス付喫茶〟

◇…さきごろ、外人クラブで全スト・ショウをやって挙ったローズ・丸山をめぐって、妙な噂話が流布されている、彼女は〝裸の輸出〟とさわがれて、フィリピンに巡業中、スパンコールを落して送還された御仁であることは読者も周知の事実だが、その陰には外国資本の魔手が伸びていたというのだ、それによると、資金を出したのは某外国航空会社の支社長で〝トウキョウ秘密情報〟に憧れる各国の紳士たちの財布のヒモをゆるめさせ、一儲けしようと考えていたところが、思わぬ？珍事で見事失敗、そこで、都内の外人クラブで挽回しようということになり全ストを敢行させた、その結果もまた失敗、そうこうするうちに千二百万円近くのアナをあけてしまった、本社からの監査の日も近い、とどのつまり、腹心の会計氏が罪をかぶることになり、支社長が会計を丸ノ内署に横領で告発した、しばらくして使込金は必ず返済すると保証人を入れて誓約することで示談が成立したというのである、丸ノ内署では「不審の点はあるが、示談となったのでは…」といっている

◇…藤田山の後援会発足記念のプロレスが十九日巣鴨高校で行われ、御大力道山がいなくてはとの予想に反して三千人の観集がつめかけたが、それ以来〝バトーロイル〟なる試合方法が中学生間に流行りはじめている、本家のアメリカでは前座試合として行っているもので、六人から八人がリングに上り、弱い奴をみんなで力をあわせ、片っぱしからフォールして追出し、最後に残った二人が雌雄を決するというシステムである、組んずほぐれつというスリルが大変お気に召しているためらしいが早くも「奴は最近態度が大きいからバトッちゃおうか」なんて言葉がちらほらみえているそうナ

◇…火曜日のこの欄に、「海底の黄金」でジェーン・ラッセルが船に上るときのスチール写真が下から…と書いたところ、アチコチにちょっとしたコボレ話がまき起った、「せっかく好きだったのに…」という高校生のラッセル・ファンがあるかと思えば、各署の保安係が管内の劇場に飛び、小屋側ではあわてて取はずして大こぼし、ところが、物好きな紳士が一目みんものと押かけ、思わぬ拾いものをしたとエビス顔に変ったという

◇…新橋にまた新趣向の喫茶店が出現した、烏森口から三分のSという純喫茶は、ベッド、バス付のスペシャル・ルームが売りもの、コーヒー代一金二百円ナリさえ支払えば、あとは泣こうが呻こうが一時間だけは全く御勝手というところがミソ、「昼間っから深夜の情熱が展開されてはどうもねェ」とは近所の岡焼き連の話　（赤）

## 魔法の音楽箱とは？
### ボタン一つで好みの曲が聴ける
### 大井町「阿波屋」の話題

オルゴールという可愛いい音楽器がある。蓋を開けると「乙女の祈り」とか「エリーゼの為に」などというロマンチックなメロディが流れ出るしかけの小箱だ。若い恋人にでも送って、二人の想い出にするにはいいが、大きな大人がシンミリ聞いていたりなどすると少々オセンチに見えるからご用心のこと。大人の遊びにはオルゴールを数百倍も精巧にしたような、魔法の音楽箱（ジュークボックス）というのがある。東京には三台とはあるまいといわれる、世界でも珍らしいものだが〝現ナマに手を出すな〟に登場したから、スクリーンの上でなら知っている人も多いだろう、ボタン一つで好きな音楽が聴けるファン渇望のものだ

東京でこの音楽箱を設備した店は大井町に唯一軒、ミリオン座前の「阿波屋」だけだ。大井町唯一の老舗だが、いつも新しい感覚で話題を提供、この三つとない最新式機械とアメリカから直輸入し備えた点など、堂々たる新進り、チャチな戦後派では到底得ない企画だろう。

ジャズ、シャンソンからセミクラシック迄好みの曲がボタン一つで自由に聴いて10円。早くも見高いヤジ馬から高尚な音楽ファン迄殺到して店のアルジは嬉しい悲鳴のあげ通しだ。

店内は青みのかかった涼しげな配色と彩光。カーテン越しの花から窓の向うの噴水まで静かにって音楽を楽しむにピタリとした雰囲気を盛り上げているのもみとだし、コーヒー、ジュースその他飲物のうまさも界隈ピカ一といっていい。話の種にも一度訪ずれてみる価値のある店といえよう。

# 続 情炎の千代田城（158）

岩崎　榮
寺本忠雄 画

御前論争（十）

露店がひろげたばかりの店をしまい、馬道を潮が退くように、宵詣での男女が逃げて行った。

取り囲んだ輪が、ジリジリ、ジリジリッと絞るように寄って来た。

「惜しいが、こりゃ道具を捨てずばなるまいな」

独りごとで、易道具を入れた袋を、

「ヤアッ」

正面から斬り込んで来たやつの顔にたゝきつけた。

右から打ち込んでくるのをサッとかわして泳ぐ腰を、うしろからパッと蹴っとばしたから、左から踏み込んで来かけたやつに、まっこうをたゝき斬られて、

「うわっ」

その隙に 本人の体は 大地を離れ、両手を空に、吊し揚げられるように、銀杏の枝へ飛びついて、枝がパラパラと大きく揺れるなかを、一と跨ぎに地面へ降りると、一目散に、そこからヒラリと柵の木に移った。

「それっ」

寺の庭を、溝に沿って、逃げるうしろを追いかける。

「やっ」

練り塀に片手を伸ばしかけて、パッと飛び上って、築地の塀にうずくまった。

「あっ」

「囲め、塀を乗り越せっ」

「うむ」

塀を飛び越えて来たやつのうしろから、いきなり斬りつけた。

「いけねえ」

塀の外に五、六人、来たやつを蹴って、自然石の大きな碑の陰へ、転げ込む。

香台の石に腰をおろし、竹の花筒に溜っているアカ水でノドをうるおした。

門を入って来たのがガヤガヤと

「どこだ」

「おい、どこに居るのかっ」

「さて、わからぬ」

「灯だ。篝を燃さぬと……」

「あゝ灯を持って来たな」

「よし、一本よこせ」

篝火が五つ六つ、墓地の四方から何十人かゞ、墓石の間を、

「おい、居らぬか」

「居らんぞ」

「要心しろ」

「どうも墓場とは——しまつにわるい」

「ギャァッ」

「居ったかっ」

「どこだっ」

「こゝだっ」

「うっ……つゝゝ」

「それっ」

「うわァっ」

「むやみと動くでないぞ」

「墓場でなくば——おのれ」

一とき、しずかになった。

## 記録的完れゆき 当て売はプレミアつき

東宝歌舞伎

東宝歌舞伎七月公演は、前売開始と同時に申込みが殺到、七月三日の前売初日から一日で大部分が売切れとなり、前代未聞の記録的売行きで、一部ではプレミアがついているという。

## 東映天然色「赤穂浪士」準備を開始

東映初のイーストマン・カラーによる天然色映画「赤穂浪士」は、このほど準備を開始した。出演者は市川右太衛門、片岡千恵蔵ほかオールスター・キャストで、製作は九月から開始の予定、監督松田定次。

---

# スターのいる町 築地界隈（その一）

# 神妙な顔でお好み焼

## 『トコちゃん』に集る伴淳や清川虹子

## 若いもんの面倒みる深水画伯

尾張町から昭和通りを抜け歌舞伎座を左手に見て万年橋を渡ると、こゝからが築地ということになっている、つまり魚河岸の兄ちゃん連中の縄張りでもあり、粋筋のお姐さんが逍遥するアンバランスの美を持つ不思議な土地なのである

さてこの万年橋を右手に切れ、東劇の裏手に回ると小粋な料理屋がある（おそらく料理屋なんだろう、舟板塀に見越しの松というのがある）これが宝塚のジャズ・シンガー朝丘雪路の家であり日本画の大御所伊東深水先生の家だ、これは要するに朝丘が深水画伯の娘ということなんだが、彼女親爺に似ず画の方はテンデ駄目で、小さい時から専らピーチクパーチク歌ばかり歌っていたという話だ、もっともこの家にはその他にも映画人の出入りが多く、その昔の日活スター深水藤子も二年程前には顔をみせていたし、今でも松竹の永井達郎、諸角啓二郎など中堅級が時々来ている、ということは深水画伯が若いものゝ面倒をよくみているということにほかならないのだが……

さてその面倒といえば、この通りを築地のロータリーに向ってくると、面倒を見た話がゴロゴロ転がっている、二年程前このマーケットの二階が貸事務所になっていたのだが、新協劇団や移動演劇連盟の連中がこゝにいたことがあった、つまり二階には長髪族の腹のすいた若い者が住み、下は十円で子供の頭くらいのマンジュウや三十円のラーメンを売る店があるという実に便利な事務所なのである、従って彼等（新協劇団だから岡田英次や西村晃、織本順吉もいたわけだ）は毎日腹がへるとこの店でパクついたというが、マンジュウ屋のおばさんにいわせると「そうね、随分帳面で食べさせたから損したかもしれないし、忘れちゃったのもあるね、でもあの人達が偉くなってくれゝば、あたしゃ良いクドクをしたと思ってるんだよ」といった、つまりは岡田にしろ、木村功にしたっていくらかはこのおばちゃんの恩恵をこうむっているわけだ

このマーケットの正面にパチンコ屋と八十円でウナ丼を食わせる大衆食堂があるが、この三軒先にあるのが映画倫理規程委員会などいうコワイおじさん達の住む映画連合会事務所がある、この前を通って左へ回りヒョイと上を向くと、赤と青のネオンで「お好み焼トコちゃん」という看板が眼につく、こんど松竹と専属契約を結んだ子役の熱海幸子の店ということになっているが、本来は彼女のママが経営している店なのである、このママなかなか商売人で、その他にも旅館やレストランをやっているが、ここへは伴淳、清川虹子、益田キートンなどがチョクチョク顔を見せている、映画と似ても似つかぬ真面目な顔で牛テンなど焼いて楽しんでいる、何ということはないが日芸プロの分室といったものなのであろう【次回は来週土曜日築地界隈その二】

岡田英次　朝丘雪路　熱海幸子　伴淳三郎　清川虹子

---

# 今年は新人中堅のみで？

## 新劇三座の合同公演

**文学座、俳優座、民芸の三座は昨年十一月第一回の合同公演としてチェーホフの「かもめ」を俳優座劇場で上演したが、合同公演はその後も年一回は続けて行う予定で、そのための合同公演委員会が永井智雄、宇野重吉、芥川比呂志の三名によって随時持たれている、最近行われたその委員会では本年の第二回三座合同公演は主として各座の中堅、新人クラスを中心として十二月に上演されること、またレパートリー、演出は何れも岩田豊雄氏に一任することに決定をみた模様で、その成行が注目をあつめている**

永井智雄

宇野重吉

芥川比呂志

千田是也

遠藤慎吾氏　小夜福子　下元勉

# オール・スターで無理せぬ條件で（千田・遠藤）（片谷）

## 関係者間に賛否両論

中堅、新人を主とした合同公演になるという話は昨年十二月、千田是也演出で築地小劇場三十周年記念「海戦」の稽古中（上演は中止となった）出演の三座新人たちが千田に対し「新人の三座合同公演を持ちたいが、その節は必ず演出を引受けて欲しい」との申出があったことが一つのキッカケとなったといわれる、また昨年の「かもめ」については、キャストの組み方が総花的で「誰某はミスキャストであった」とか「いや、レパートリーそのものが、演技の質のそれぞれちがった三座の合同公演には適しないものであったと思う」とかいうさまざまな批判が外部、内部の各方面から出、そうしたいろいろの事情が考慮されて今回の方針が打出されたものとみられる、これについて昨年「かもめ」のキャスティングおよび演出に当った千田是也は「まあ、たしかに中堅や新人の交流も大切なことだし、それなりの意義もあるとは思うけれども、しかしお客さんの側にすれば、やっぱりベテランの顔見せの方を歓迎するんじゃないですかね」といゝ、また演劇評論家の遠藤慎吾氏も同様「観客が求めているものは、野球にたとえればオール・スター・ゲームじゃないですか、新人の交流なら別の機会に持つようにしたらどうですかね、現在合同公演として必要な条件は、何よりも観客の要望するような戯曲を、一つの劇団では組めないことにあると思うんですよ、たゞ劇場などは俳優座みたいな小さなところでやらないで、東横ホールあたりの座席数も多く、音響効果もいゝホールでロングを打って、十万ぐらいの大観客を動員してみたらいゝと思いますね、昨年の例で見ても、いままで新劇を見たことがない人も合同公演ならといって来てるんだし、こういう機会に大資本をバックの商業演劇に対するデモンストレーションをやってみるべきじゃないでしょうか」と中堅、新人を主とした合同公演という形には、千田、遠藤二氏とも甚だ批判的であるが、一方民芸の経営部長の片谷大陸氏は「べつに顔見せ公演が悪いとは思いませんよ、お客さんを喜ばせるということも大切でしょう、しかし劇団は一つの芸術団体ですからね、いろいろ自主的な公演のプランもあることだし、合同公演というものも、各劇団がやれる条件の中で参加するということが無理がなくていゝんじゃないですか、ことしはそういう形で行くというのが、各劇団の中堅、新人層の希望にも添うことだし、またそれぞれのスケジュールにも無理を起さないで済むとなれば結構じゃないですか、新人といっても、入ってまだ一、二年という人じゃないですからね、小夜（福子）や下元（勉）なんかも、うちでは新人公演に出てますよ、だから新人合同公演にネーム・ヴァリューがないということはないでしょう」

とこれは賛成意見をのべている、当の合同公演委員の一人永井智雄の話では「いや、べつにベテランの方たちに参加していただかないなんてことを決めたわけじゃないんです、ただこんどは前々から、新人の合同公演をやって欲しいという声が下から起っていたので、それをとり上げることにしたわけですが、新人とか中堅とかいっても、だれまでが中堅で、どういう人を新人というのか、そこのところもなかなかきめ難いものですから、まだ具体的な話まで行ってないのですよ、岩田先生の話もお会いして相談してみようということで、決して昨年は演出をこちらから出したから、今年は文学座と考えたのではないですよ、月末にもう一度委員会を開きますが、その折にはかなりはっきりした具体案が出るでしょう」と語っている

---

# 土曜サロン

# 青春は眞夜中にある

森繁久彌

目下私の青春は真夜中にある。

ハハァ森繁の奴さては……などとニヤニヤされてはいけない。このタイトルから私の風流譚を想像された方にはお気の毒様だが。これは文字通り、ニキビ華やかに、大志を抱いて雲を望む少年の日の青春の味を、今不惑の歳に楽しんでいるのである。

つまりですね。平たくいえば気の合った悪童仲間と、無計画無計算に、したい放題のお芝居ごっこをしているのである。

左様、虻蜂座の話だ。

何しろ忙しい連中の集りなので、この一ヵ月というもの、打合せ、本読み、稽古、すべては午前零時を過ぎてから行われた。それ程忙しいのだから、さぞや時間を大切にして、一分一秒もおろそかにせず、予定を進めたかと思うとトンでもない。そんな常識屋が一人でもいたならば虻蜂座なんて、歴史的団体は生れていないだろう。

「あんまり演出家を馬鹿にしないように。文芸部」「芝居のことなんか考える暇があったら切符を売れ。経営部」「ベタベタ、スローガンを貼らないで下さい。お部屋は清潔に。女中」などという貼紙のある、のり平家のサロンにボツボツ顔が揃うと、まず車座になってビールの満をひきながらの青春快談。

今度の公演が固まってもいないのに、次回、次々回の企画を口角泡を飛ばして（無論ビールの泡です）論議し合ったり、しこたま金が儲かったら敢行しようという演劇史上類を見ない、超豪華版ドサ回りの日程を組んだり果ては、酔うにまかせ、語るにまかせ、落ち行く先は吉例「雨夜のしなさだめ」虻蜂殿御の誰も彼もが光源氏になった気のイロケ話、ノロケ話。明けるに早い夏の夜の東の空が白みはじめる頃。やおら稽古に取りかかろうという事になるが、そのトタンに、「疲れた！　明日の撮影は一番手だから、オレ帰るよ」などと、ケロリとして引揚げて行くヒドイ奴もあった。（その人の名は？……モリシ……いやよしましょう、個人攻撃になるから）残される奴も至極当り前の顔をして、「ウン、喋べりくたびれたね、ちょっと息抜きにトランプでもやるか」などとぬかす。

いやはや、この愚劣、この無思慮、まことにみごと、まことに天晴れなる奴らの集まりである。だが今の世間を卑屈に俗っぽくしているものは、この自由、我儘の不足なのではあるまいか。いや、逆説めいたモラルは語るまい。私を筆頭に、虻蜂座の悪童どもは理屈抜きに、真夜中の青春をたのしんでいるのだから——。

そして、あす二十六日までの虻蜂座の舞台に、その青春の結晶がキラキラと光りを放っているであろう。是非見においで。（これがいいたかった）

【写真は西川辰美筆の アブハチ・アロハを着た森繁】

---

# 新人山脈

阿部和加子（新劇）

一生芝居をやっていたいというほど、いまのところは新劇に惚れぬいている、それでもいつかは結婚もしたいとは思っているそうだ、「それにつけても気になるのはハナがひくいのと、いくらか出っ歯の口許なのよ」と彼女なかなかさばけたものゝいい方をする、つまりは新劇を勉強するお高い女優さま族と違う世なれた女性なのかもしれない、もっとも彼女俳優座研究所に入所するまでは大映洋画部に勤務していたり、英文タイプをパチパチ打ったりしたオフィス・ガールの経験もあるのだから、その世なれたタイプも無理のないところなんだろう、従ってラジオでも「ポッポちゃん」の白雪先生や「きんぴら先生」のすみれなどおとなしい常識娘の役が回ってくる、本来のあけっ放しのノンキさも知らないで……俳優座三期会員、現住所＝神奈川県藤沢市鵠沼一八二五

---

# ステージショウ

## 成長したペギー葉山「スカイライン」（日劇ショウ）

アメリカ旅行から帰って来たペギー葉山がひと回り大きくなって来たことは事実で、動きが身についてきた。構成・演出は日劇の山本紫朗、「ブラック・エンド・ホワイト」はちょっとしゃれているし、「アレキサンダー・ラグ・タイム・バンド」をウィンナ・ワルツ風にストランド風に、またディキシー風にといろいろアレンジして聴かせるところ、踊りの方のつなぎが不手際で盛上りに欠けたが、よく使われている手だ、楽団はリズム・エースとスターダスター、一時間十分ペギーの成長ぶりを見ればいゝショウ、二十七日まで（橋）

## 衣裳つき"裸婦像"

モデルは有名スターの許婚者

○…数日前からパリはグラン・ブールヴァールに面した画廊で、キスリング画伯の個展が開かれているが、その中の一枚はアメリカの二枚目スター、マーロン・ブランドの許婚者で、南仏の漁師の娘ジョジアーヌ・マリアーニ嬢、いくら慈善展でも可愛い許婚の肉体を描いたものを通行人の眼前にさらすことを平気でOKするあたり、やっぱりブランドの変りものたるユエンでしょう、その上ご丁寧にも絵の下に置かれたのは彼女がキスリング画伯を訪れた際に着ていたワンピース、この辺もフランス人らしい人を食った思いつきですね【写真はキーストン特約】



---

おしゃべり横丁

あれ以来ー　信者がすっかり減りました　ー千里眼娘

25日の出演　昼　バッキー白片とアロハ・ハワイアンズ　夜　ニュースワン・オーケストラ　和田弘とマヒナ・スターズ



## はと笛

▽…集団「河童同人」に加わった浅草フランス座の宵待千草、二枚看板で五月晴子を名乗ってテレビにも進出しているが、先日KRTVのサスペンス・ドラマ「日真名氏飛出す」に出演した時のこと

▽…大役とあって彼女表情から身のこなしまで念入りに研究、ハリ切ってサテ本番となり、カメラが移動して一瞬彼女の座った後姿がアップになった、そのトタンこれはしたり、足の裏が真ッ黒ケの原因はスタジオ内に組まれた三つのセットを往ったり来たりする内に足の裏が汚れたワケだが「足の裏洗ったことのないのかい？」に彼女涙ぐんで「そこまでは気がつかなかったわ」は純情そのもの【写真は宵待千草】

## 都々逸

小沢蘭太郎選

母のかたみの紅筆いとし　晴れの舞台の初化粧　日本橋・宮坂しのぶ

女房がなんだといってもやはり　途中で止まった梯子酒　浦和・尾迫通夫

遅かったわねと膝返り打って　夫をじらせる背を向けて　笠間町・金子慎

濡れた青葉と濡れないあたし　梅雨はどうやら片手落ち　木場・猿谷三十越

引いたおみくじ大吉らしい　ホッとしたよな顔のいろ　向島・君福

しなう女の手で打つ痛さ　男冥加の痩我慢　選者